

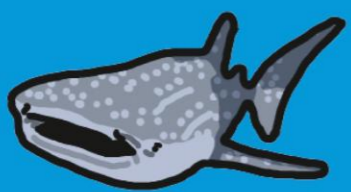


わたしたちがつくる

美ら島 の明日

沖縄らしい

SDGs アクションガイド



目次

01	はじめに	P. 1
02	沖縄らしいSDGs	P. 2
03	優先課題で見る沖縄	P. 3
04	いっしょに取り組む仲間の取組事例	P. 16
05	平和・文化に関する取組事例	P. 17
06	沖縄の未来について考えてみよう	P. 18
07	参考情報	P. 19

SDGsアクションガイドの活用方法

- 今の沖縄を知ろう！沖縄県がSDGsにどう取り組んでいるのか、データやグラフを使ってわかりやすくまとめています。今の沖縄がどうなっているか、調べてみましょう。
- 総合的な探究の時間やワークショップの教材に！「理想の沖縄」を描くためのヒントがつかまっています。付属のワークシートを活用して、沖縄が抱える課題に対し、自分ならどうアプローチするか、考えをまとめるために役立ててください。
- みんなで話し合おう！この本を使って「沖縄の未来」をどうしたいのか、みんなで意見を出し合ってみましょう。

おきなわの未来を守るために。



Sustainable Development Goals=SDGs(エス・ディー・ジーズ)は2015年9月にすべての国連加盟国が全会一致で採択した、2030年までの「持続可能な開発目標」です。17のゴールと169個のターゲット、さらに細かな指標で構成されています。激しさを増す気候変動、広がる格差、絶えない紛争など、「このままでは、この美しい地球を次の世代に引き継いでいけない」という強い危機感から生まれました。

わたしたちが住む沖縄県も、この問題を解決するために全力を尽くしています。未来をつくる主役は、あなたたち一人ひとりです。SDGsはどこか遠い国の話ではありません。あなたが選ぶもの、あなたの言葉ひとつで、未来は変えられます。この冊子を読みながら、ワクワクする未来をいっしょに想像してみましょう！



沖縄らしいSDGsの基本理念

平和を求めて時代を切り拓き、
世界と交流し、ともに支え合い、誰一人取り残さない、
持続可能な『美ら島』おきなわの実現

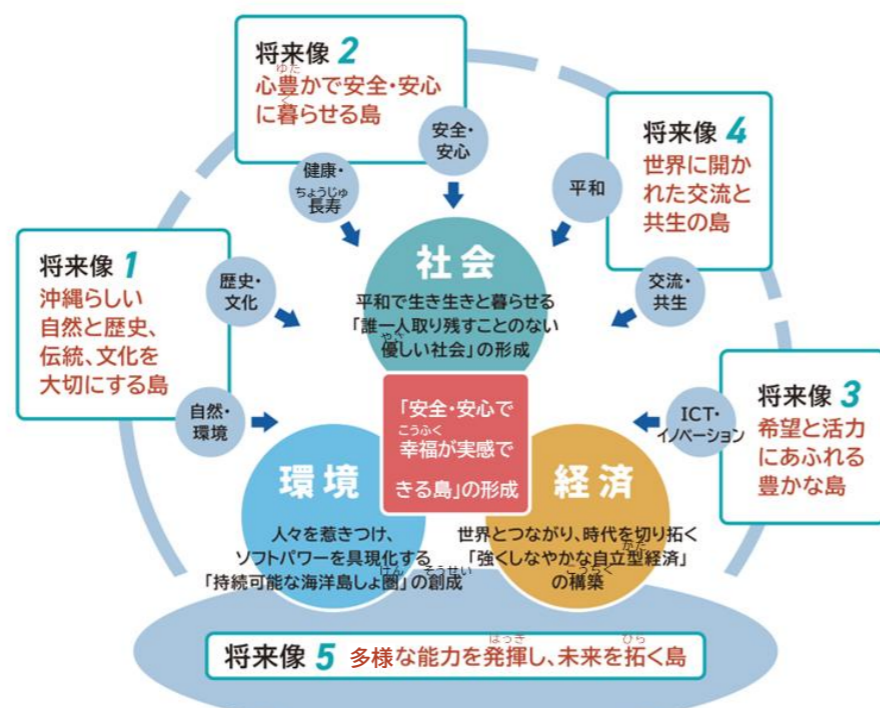
この基本理念は残すべき、あるいは残したい沖縄らしさと、
変えていくべき沖縄の双方を含有し、
継承と変革への沖縄の挑戦を示すものでもあります

基本理念の視点

- 平和を求める 歴史的特性、住民を巻き込んだ熾烈な地上戦の経験を踏まえた「平和」を希求する意思
- 時代を切り拓く 県民一人ひとりが次の時代を切り拓く主人公、意欲的に前進し気運に溢れる社会の創造
- 世界と交流する 県民一人ひとりが交流の主体、多様な交流を展開し魅力あふれる社会の創造
- 支え合う 沖縄の伝統に根ざす人と人のつながりを大切にする社会の創造
- 誰一人取り残さない SDGsの理念、17のゴールの達成に向けて基本となる視点
- 持続可能 沖縄の魅力や優位性を活かし、経済、社会、環境が調和した経済発展を実現
- 美ら島 豊かな自然を守り、次世代、さらに次世代に送りつなげる視点

新・沖縄21世紀ビジョン基本計画におけるSDGsの位置づけ

沖縄県では、県民が望む将来(2030年)のあるべき沖縄の姿を描き、その実現に向けた取組の方向性を明らかにした「沖縄21世紀ビジョン」を策定しています。その実現に向けた「基本方向」や「基本施策」を示した新・沖縄21世紀ビジョン基本計画では、前計画の「社会」と「経済」の2つの基軸に、「環境」を加えた3つの基軸と「沖縄21世紀ビジョン」に掲げる5つの将来像とを連動させ、統合的な課題解決の視点とともに、将来像の実現に向けた各種施策を展開しています。



沖縄らしいSDGsの実現に向けた優先課題

沖縄らしいSDGsの基本理念の達成に向けた取組の柱として、沖縄の歴史的・地理的・自然的・社会的特殊事情を踏まえて、12の優先課題を設定しました。これらの優先課題は不可分であり、課題間の優劣なく、基本理念の達成のためにすべてに統合的な形で取り組むこととしています。

People 人間

1. おたがいのちがいを認め合い、一人ひとりが大切にされ、みんなが活躍できる社会
2. こどもからお年寄りまで安心して元気に暮らせる地域へ
3. 「しまくとぅば」など地域への誇りと、夢をもって学べる教育の充実



Prosperity 繁栄

4. 自然や地域にやさしい観光と、観光と連携して地域を豊かにする産業振興、安心して働ける仕事づくり
5. 日本と世界をつなぐ、モノや情報が行き交う場所・沖縄
6. 地球温暖化などの気候変動に強い、安全な道路などの生活基盤と便利な交通ネットワーク



Planet 地球

7. 豊かな自然や多様な生き物を守り、自然となかよく暮らす、環境にやさしい島づくり



Peace 平和

8. 基地から起きる問題を解決し、沖縄から世界平和に貢献・発信する
9. みんなで助け合ってつくる、安全・安心な社会



Partnership パートナーシップ

10. 「ユイマール(助け合い)」の心を受け継ぎ、人と地域の「和」を深める
11. 地域・年れい・文化などをこえて、広くつながり協力し合う仲間
12. 沖縄の知恵を生かし、世界の島々と協力し合うパートナーシップ



「優先課題で見る沖縄」ページの見方

優先課題がどんなことを表しているか、イラストを見てイメージしてみよう

優先課題の解決に向けた進み具合が分かるチェックポイントをのせているよ

「くらべてみよう！沖縄の『これまで』と『これから』」の進み具合を、くわしく説明しているよ
 むずかしい言葉は、青い文字にして、「SDGs用語集」で分かりやすく説明しているよ

03 優先課題で見る沖縄

優先課題 1 おたがいのちがいを認め合い、一人ひとりが大切にされ、みんなが活躍できる社会

くらべてみよう！沖縄の「これまで」と「これから」

チェックポイント	前の沖縄	今の沖縄	目指す沖縄	進み具合
性の多様性(いろいろな性)の理解を広げる活動をしている市町村の割合	54.8% (2022)	76.2% (2025)	100% (2031)	➡
会社などで働く障がいのある人の割合	2.86% (2021)	3.39% (2024)	4.12% (2031)	➡
沖縄で暮らす外国人の数	21,792人 (2021)	29,384人 (2024)	35,899人 (2031)	➡
県の課長相当職以上に占める女性の割合	16.4% (2021)	24.2% (2025)	30.0% (2030)	➡
仕事と生活のバランス(ワーク・ライフ・バランス)が良いと認められた会社の数	100団体 (2021)	119団体 (2024)	190団体 (2031)	➡

表から見えてくる、沖縄の現在地

性の多様性への理解を深める
 沖縄県は、みんなが「自分らしく」安心して暮らせる島を目指しています。2021年には、どんな性のあり方(LGBTQなど)も大切にするという宣言を出しました。なやみを相談できる場所を作ったり、差別をなくすためのルール(条例)を決めたりして、おたがいの個性を認め合う取組を進めています。一人ひとりのちがいを「いいね！」と認め合い、みんなが自分らしく生きられる、心豊かな沖縄をいっしょにつくっていきましょう。

みんなが安心して、自分らしく過ごせる沖縄へ
 沖縄では、障がいのある人や外国から来た人も、安心して働き、生活できる町づくりが進んでいます。障がいのある人が働く場所は年々ふえており、多くの会社が「みんなが働きやすい工夫」を取り入れ始めています。また、県庁(県の仕事を進める役所)など、性別に関係なくみんなが活躍できる場も広がっています。言葉や文化、体の状態、そして考え方。一人ひとりのちがいを大切にし、みんなが安心して自分の力を発揮できる「共に生きる社会」を、みんなで目指していきましょう。

県民アンケートから見る沖縄の現状

- 1 「LGBTQ」という言葉を聞いたことがある 約45%
- 2 障がい者の社会参加が拡大している 約21%
- 3 女性の社会活動参加、能力発揮ができていない 約33%

よりよい沖縄の実現に向けてアクションを起こそう！

- 1 LGBTQについて調べてみよう
- 2 「何か手伝える？」と一言聞いてみよう
- 3 性別に関係なく家事・育児に取り組もう

あなたもいっしょに！沖縄をよくするみんなの取組

まわりとちがってもだいじょうぶ！
 NPO法人 レインボートokinawa

わたしたちがつくる、差別のない沖縄
 沖縄県 女性力・ダイバーシティ推進課

優先課題に関係のあるゴールをのせているよ

みんながSDGsを「自分のこと」として考えられるように、関係のある数字をのせているよ

優先課題の解決に向けて、一人ひとりができることを紹介しているよ

優先課題について、企業・団体や沖縄県ががんばっている取組を紹介しているよ

「前の沖縄」とくらべた「今の沖縄」の変化率(どれくらいふえたか・へったか)を計算しているよ。
 変化率(%) = (今の沖縄 - 前の沖縄) ÷ (前の沖縄) × 100

進み具合	計算結果	意味
➡	+5.0%以上	「前の沖縄」とくらべて、「今の沖縄」が良い方向に進んでいる
➡	-5.0%より大きく +5.0%未満	「前の沖縄」と「今の沖縄」が、あまり変わらない
➡	-5.0%以下	「前の沖縄」とくらべて、「今の沖縄」が悪い方向に進んでいる

優先課題 1 おたがいのちがいを認め合い、一人ひとりが大切にされ、みんなが活躍できる社会



くらべてみよう！沖縄の「これまで」と「これから」

チェックポイント	前の沖縄	今の沖縄	目指す沖縄	進み具合
性の多様性(いろいろな性)の理解を広げる活動をしている市町村の割合	54.8% (2022)	76.2% (2025)	100% (2031)	➔
会社などで働く障がいのある人の割合	2.86% (2021)	3.39% (2024)	4.12% (2031)	➔
沖縄で暮らす外国人の数	21,792人 (2021)	29,384人 (2024)	35,899人 (2031)	➔
県の課長相当職以上に占める女性の割合	16.4% (2021)	24.2% (2025)	30.0% (2030)	➔
仕事と生活のバランス(ワーク・ライフ・バランス)が良いと認められた会社の数	100団体 (2021)	119団体 (2024)	190団体 (2031)	➔

表から見えてくる、沖縄の現在地

性の多様性への理解を深める

沖縄県は、みんなが「自分らしく」安心して暮らせる島を目指しています。2021年には、どんな性のあり方(LGBTQなど)も大切にするという宣言を出しました。なやみを相談できる場所を作ったり、差別をなくすためのルール(条例)を決めたりして、おたがいの個性を認め合う取組を進めています。

一人ひとりのちがいを「いいね！」と認め合い、みんなが自分らしく生きられる、心豊かな沖縄をいっしょにつくっていきましょう。

みんなが安心して、自分らしく過ごせる沖縄へ

沖縄では、障がいのある人や外国から来た人も、安心して働き、生活できる町づくりが進んでいます。障がいのある人が働く場所は年々ふえており、多くの会社が「みんなが働きやすい工夫」を取り入れ始めています。また、県庁(県の仕事を進める役所)など、性別に関係なくみんなが活躍できる場も広がっています。

言葉や文化、体の状態、そして考え方。一人ひとりのちがいを大切に、みんなが安心して自分の力を発揮できる「共に生きる社会」を、みんなで目指していきましょう。

県民アンケートから見る沖縄の現状

1 「LGBTQ」という言葉を聞いたことがある



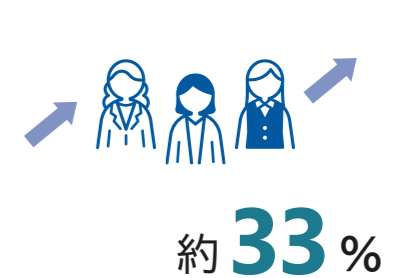
出典 令和2年度 男女共同参画社会づくりに関する県民意識調査結果 [くわしくはこちら](#)

2 障がい者の社会参加が拡大している



第12回県民意識調査(くらしについてのアンケート)結果 [くわしくはこちら](#)

3 女性の社会活動参加、能力発揮ができています



第12回県民意識調査(くらしについてのアンケート)結果 [くわしくはこちら](#)

よりよい沖縄の実現に向けてアクションを起こそう！

1 LGBTQについて調べてみよう



2 「何か手伝える？」と一言聞いてみよう



3 性別に関係なく家事・育児に取り組もう



あなたもいっしょに！沖縄をよくするみんなの取組

まわりとちがってもだいじょうぶ！

NPO法人 レインボーハートokinawa [くわしくはこちら](#)



おたがいのちがいを大切に、みんなが安心して生きられる社会を目指して、LGBTQや性の多様性の講演会をしています。まずは正しく「知る」ことから。「みんなちがってみんないい」社会をいっしょに作りましょう！

わたしたちがつくる、差別のない沖縄

沖縄県 女性力・ダイバーシティ推進課 [くわしくはこちら](#)



沖縄県は、一人ひとりが大切にされ、出身や性別など、自分の力で変えるのがむずかしいことを理由に差別されない社会を目指してルールを作りました。みんなが自分らしく安心して暮らせるよう、人権の大切さを学びましょう！

優先課題 2 | こどもからお年寄りまで安心して 元気に暮らせる地域へ



くらべてみよう！沖縄の「これまで」と「これから」

チェックポイント	前の沖縄	今の沖縄	目指す沖縄	進み具合
人口10万人あたりの医者の数	257.2人 (2020)	266.1人 (2022)	268人 (2031)	→
健康寿命(男性)	72.11年 (2019)	71.62年 (2022)	前回調査より 延伸(2031)	→
健康寿命(女性)	75.51年 (2019)	74.33年 (2022)	前回調査より 延伸(2031)	→
相談をして仕事が決まったひとり親家庭 の数	924件 (2021)	1,111件 (2024)	1,545件 (2031)	↗
生活に必要なお金が足りず、困っている 家庭の割合	23.2% (2021)	21.4% (2025)	16.6% (2031)	↗ 数が少ないほど 良いんだよ！

表から見えてくる、沖縄の現在地

医療の体制づくり

沖縄では、みんなが安心して治療を受けられる仕組みづくりが進んでいます。医者の数はふえていますが、離島や住む場所によっては、まだ医者が足りないなどの課題もあります。どこに住んでいても、みんなが同じように「安心」して暮らせる社会をつかっていくことが大切です。

「健康・長寿おきなわ」の復活

沖縄では、「健康で長生きな島」を取りもどすために、バランスの良い食事や運動、病気の予防に取り組んでいます。しかし、働き盛り世代の死亡率が高くなっています。年をとっても元気に過ごせるよう、こどものうちから健康を大切にすることをみんなで広めていきましょう。

ひとり親家庭への支援・こどもの貧困解消

ひとり親の家庭や生活が大変な子どもたちが、安心して暮らせる仕組みづくりを進めています。最近、仕事の相談や、地域の人々で食事や勉強ができる「居場所」もふえ、より多くの家庭をささえられるようになりました。これからも、すべての子どもが楽しく学び、夢に向かって成長できる環境をみんなでつくっていきましょう。

県民アンケートから見る沖縄の現状

- 健康診断、健康の相談が受けやすい **約49%**
- こどもの居場所設置や学習支援について、行政に力をいれてほしい **約74%**
- こどもの学校教育費のうち、制服の経済的負担が大きい(中2保護者) **約72%**

出典 第12回県民意識調査(くらしについてのアンケート)結果

第12回県民意識調査(くらしについてのアンケート)結果

令和6年度沖縄こども調査(小中学生調査)結果

よりよい沖縄の実現に向けて アクションを起こそう！

- 健康的な生活習慣を身に着けよう
健康診断を定期的に受けよう
- 地域の見守り活動(こども食堂・無料塾など)に参加・応援しよう
- 使わなくなった学用品や学生服を寄付しよう

あなたもいっしょに！沖縄をよくするみんなの取組

「すこしお生活」で、あなたとまちを元気に

沖縄医療生活協同組合

くわしくはこちら

「すこしお生活」「24時間蓄尿塩分チェック」など、みんなで楽しく健康づくりをしています！困った時の相談や、お金の心配をせずに受けられる診察もあり、みんなが安心できる町を目指しています。自分や地域を元気にする活動に参加しませんか？

ゆいまあるでつなぐ、制服と笑顔の輪

学生服リユース・リサイクル ゆいまある

くわしくはこちら

思い出のつまった制服を次の笑顔へつなごうませんか。「ゆいまある」では制服をきれいにし、安く売ったり、必要な家庭へ無料で届けたりしています。みなさんの寄付や協力が、地域の仲間をささえる力になります！

優先課題 **3** 「しまくとぅば」など地域への誇りと、夢をもって学べる教育の充実



くらべてみよう！沖縄の「これまで」と「これから」

チェックポイント	前の沖縄	今の沖縄	目指す沖縄	進み具合
しまくとぅばで、あいさつやおしゃべりができる人の割合	28.6% (2021)	42.5% (2024)	60.0% (2031)	➔
学校で伝統芸能の公演を見て、理解した児童・生徒の割合	84.0% (2021)	87.6% (2024)	90.0% (2031)	➔
夢や目標を持ち、決めたことを最後までやる児童生徒の割合(小学校)	78.3% (2021)	80.8% (2025)	84.0% (2031)	➔
夢や目標を持ち、決めたことを最後までやる児童生徒の割合(中学校)	76.4% (2021)	72.9% (2025)	82.0% (2031)	➔
生涯学習(大人になっても学ぶ)講座を受けた人の数	44,685人 (2021)	95,972人 (2024)	182,000人 (2031)	➔

表から見えてくる、沖縄の現在地

歴史と文化を学び、地元を誇る若者の活躍

2009年にユネスコ(国連教育科学文化機関)により、失われる可能性が非常に高い言語に指定された沖縄の「しまくとぅば」。使う人は少しずつふえています。もっと広めていく必要があります。また、学校で組踊などの伝統芸能にふれる機会もふえています。地域の歴史や文化を大切に、地元への愛着と誇りを持つ取組をこれからも進めていきましょう。

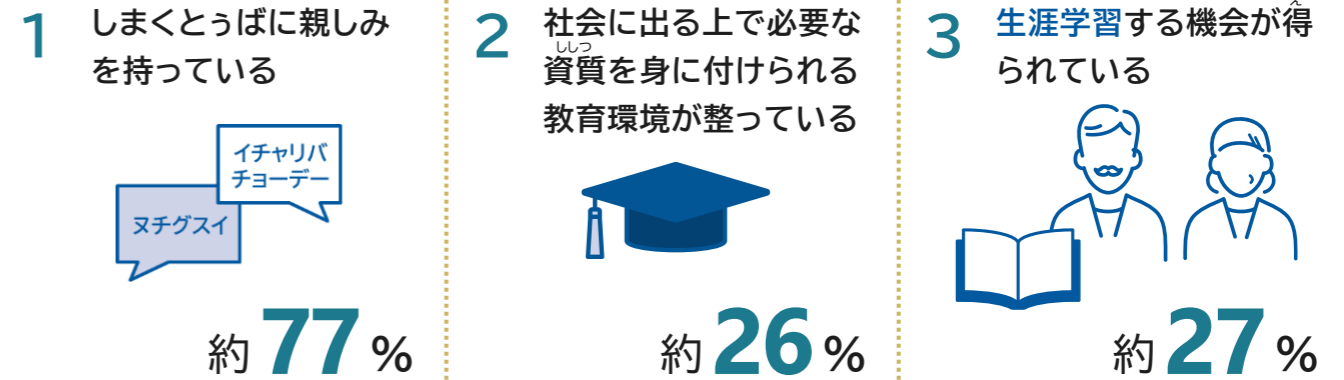
生きる力を育む環境づくり

新しい時代に合わせ、タブレットなどを使った授業や、自分でテーマを決めて調べる学習が進んでいます。これにより、将来の夢を持ち、目標に向かって進む人がふえています。お年寄りなど地域の方々 guard してきた沖縄をさらに良くするため、自分たちで考え、行動する力をこれからも大切に育てていきましょう。

学びと生きがいをささえる環境づくり

沖縄県では、いつでもどこでもだれでも学ぶことができる環境づくりを進めています。県や市町村が開く生涯学習講座の参加人数はふえており、多くの方が仕事や地域活動、趣味などを通じて学びとつながりを深めています。自分から進んで学び続けることで、自分の可能性を広げ、豊かで活力ある人生と、わたしたちが幸せに暮らせる社会をつくることができます。

県民アンケートから見る沖縄の現状



出典 沖縄県しまくとぅば県民意識調査報告書(令和7年3月) [くわしくはこちら](#) 第12回県民意識調査(暮らしについてのアンケート)結果 [くわしくはこちら](#) 第12回県民意識調査(暮らしについてのアンケート)結果 [くわしくはこちら](#)

よりよい沖縄の実現に向けてアクションを起こそう！

- 1 うちなーぐち検定を受けてみよう
- 2 職業体験やインターンに参加してみよう/受け入れに協力しよう
- 3 みんなが知っていることや得意なことで、身近な人をハッピーにしよう



あなたもいっしょに！沖縄をよくするみんなの取組

地域の宝を未来へ！次世代がつくる感動の舞台

一般社団法人島人Lab

[くわしくはこちら](#)



沖縄のミュージカルとも言われている「現代版組踊」。地域の歴史を学び、障がいの有無に関わらず、みんなで一つの舞台をつくります。それぞれの個性が光り、混ぜり合う、全員が主役のステージ。ぜひ参加してね！

「まなびネットおきなわ」であなたの学びを発見

沖縄県生涯学習推進センター

[くわしくはこちら](#)



学びたいと思った時がスタート！自分の生活に合わせて、いつでも、どこでも、だれでも勉強できる情報を届けます。「まなびネットおきなわ」で、新しい趣味や知識に出会う楽しさを。いっしょに学びの旅へ出かけましょう！

優先課題 **4** 自然や地域にやさしい観光と、観光と連携して地域を豊かにする産業振興、安心して働ける仕事づくり



くらべてみよう！沖縄の「これまで」と「これから」

チェックポイント	前の沖縄	今の沖縄	目指す沖縄	進み具合
自然や文化を守る観光への取組を感じた観光客の割合	40.7% (2021)	40.0% (2024)	70.0% (2031)	→
沖縄の農林水産業(農業・林業・漁業)の産出額	1,117億円 (内訳: 農業922億円 林業16億円 漁業179億円) (2021)	1,085億円 (内訳: 農業879億円 林業16億円 漁業190億円) (2024)	1,500億円 (内訳: 農業1,205億円 林業16億円 漁業279億円) (2031)	→
働ける年い(15さい以上)の人のうち、働いている人の割合	60.0% (2021)	62.2% (2024)	61.5% (2031)	→

表から見えてくる、沖縄の現在地

世界に誇る持続可能な観光産業の確立

沖縄では、自然を守りながら地域の宝を生かした観光を進めています。しかし、観光に来た人が「持続可能な観光を進めるための取組ができていない」と感じる割合はまだ少なく、もっとがんばる必要があります。美しい自然や文化を守りながら、観光も盛り上げる「持続可能な観光」を広げ、世界に誇れる沖縄をつくっていきましょう。

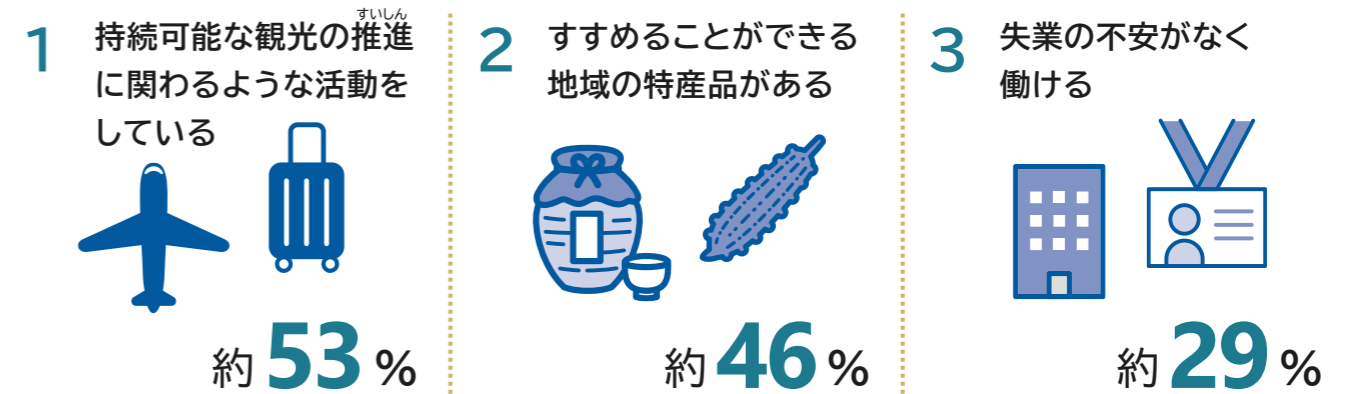
観光と連動した産業活性化

観光を盛り上げながら、農業や漁業を元気にする取組が進んでいます。沖縄の食材は人気ですが、作ったり取ったりする人の数がへっています。未来の作り手を育てたり、沖縄県の農水産物を積極的に使うことで、農家さんや漁師さんをみんなで応援し、沖縄の豊かな恵みを守っていくことが大切です。

安定した雇用の実現

みんなが安心して働けるよう、仕事を探す人をささえる場を広げています。働いている人の割合はふえています。会社側も「働きやすい環境」を整えることが大切です。みんなが力を発揮できる職場をつくっていきましょう。

県民アンケートから見る沖縄の現状



出典 令和6年度沖縄観光に関する県民意識調査結果 [くわしくはこちら](#) 第12回県民意識調査(くらしについてのアンケート)結果 [くわしくはこちら](#) 第12回県民意識調査(くらしについてのアンケート)結果 [くわしくはこちら](#)

よりよい沖縄の実現に向けてアクションを起こそう！



あなたもいっしょに！沖縄をよくするみんなの取組

観光が社会貢献に。沖縄のビーチを守る旅

沖縄ツーリスト株式会社 [くわしくはこちら](#)

旅をするほど、沖縄がきれいに！島をめぐる、地元の人といっしょに海をそうじする「ビーチクリーンツーリズム」に出かけませんか？遊ぶことが自然を守ることにつながる新しい旅。あなたも参加しましょう！

沖縄の食材を食べて、未来につなげよう

沖縄県 流通・加工推進課 [くわしくはこちら](#)

地元の食材を食べる「地産地消」は、食材を運ぶ時のCO₂をへらす立派なSDGs。「くわっちーおきなわ」で県産食材を学んで食べてみよう！みんなの「おいしい」が、沖縄の持続可能な農業につながるよ。

優先課題 **5** 日本と世界をつなぐ、モノや情報が行き交う場所・沖縄



くらべてみよう！沖縄の「これまで」と「これから」

チェックポイント	前の沖縄	今の沖縄	目指す沖縄	進み具合
那覇空港で取り扱う貨物量	17.0万トン (2021)	18.0万トン (2024)	33.0万トン (2031)	↑
那覇港で取り扱う外国の貨物量	129万トン (2021)	122万トン (2024)	238万トン (2031)	↓
IT(情報通信)産業で働く人1人あたりの売上額	1,093万円 (2021)	1,235万円 (2024)	1,345万円 (2031)	↑

表から見えてくる、沖縄の現在地

国際物流と公正な貿易を進める

沖縄はアジアの中心にある便利な場所です。那覇空港で取り扱われる貨物はふえています。那覇港で取り扱われる外国の貨物はへっています。飛行機と船を上手に組み合わせて、新しい貿易の道を作り、世界とつながる元気な沖縄をみんなで目指しましょう。

ICTで産業DXを進める

沖縄では、デジタル技術を使って新しい仕事やサービスを生み出す「産業DX(デジタルトランスフォーメーション)」に取り組んでいます。コンピュータを上手に使うことで、今までより短い時間で良いものを作れるようになり、働く人の売上もふえています。これからもICT(デジタル)の得意な人を増やし、会社同士で助け合いながら、沖縄をもっと豊かにする「稼げる仕事」をみんなで広げていきましょう。

県民アンケートから見る沖縄の現状

1 「商業・貿易」に注力すべき



約 **61%**

出典 第12回県民意識調査(暮らしについてのアンケート)結果

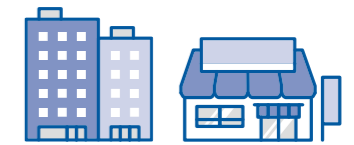
2 物価が安定している



約 **13%**

第12回県民意識調査(暮らしについてのアンケート)結果

3 沖縄の優位性を生かした新事業・新産業が生み出されている



約 **25%**

第12回県民意識調査(暮らしについてのアンケート)結果

よりよい沖縄の実現に向けてアクションを起こそう！

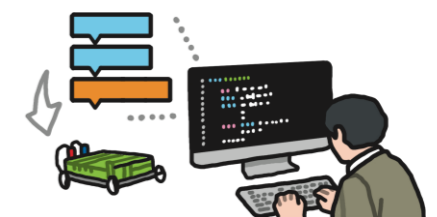
1 日本で唯一の国際物流特区について調べてみよう



2 沖縄の港から輸出しているモノについて調べてみよう



3 プログラミングなどのデジタルスキルを身に付けよう



あなたもいっしょに！沖縄をよくするみんなの取組

アジアの中心・沖縄。経済の最前線を学ぼう

沖縄県 企業立地推進課



アジアの中心にある沖縄は、飛行機や船の通り道として、新しい工場やITの会社がどんどんふえています。ポータルサイトで沖縄の経済について学び、未来を動かすお仕事の世界をのぞいてみませんか？

沖縄最大級のIT・DXイベント。ResorTech(リゾテック)へ！

ResorTech EXPO in Okinawa 実行委員会



沖縄最大級のIT・DXイベント「ResorTech EXPO(リゾテックエキスポ)」は、年に1回のビッグイベント。ビジネスやわたしたちの生活を便利にする国内外の最新デジタル技術を、ぜひ会場で体験してみてください！

優先課題 6

地球温暖化などの気候変動に強い、安全な道路などの生活基盤と便利な交通ネットワーク



くらべてみよう！沖縄の「これまで」と「これから」

チェックポイント	前の沖縄	今の沖縄	目指す沖縄	進み具合
避難所など防災拠点となる建物が地震に強くなっている割合	94.3% (2021)	95.7% (2024)	98.6% (2031)	→
県民1人が出す二酸化炭素の量	8.0t-CO ₂ /人 (2019)	7.3t-CO ₂ /人 (2022)	4.8t-CO ₂ /人 (2031)	→ 数が少ないほど良いんだよ！
太陽光や風力などのエネルギーで作られた電気の割合	11.1% (2021)	12.5% (2023)	19.0% (2031)	→
バス・モノレールなどの公共交通の利用者数	2,996万人 (2021)	4,306万人 (2022)	6,900万人 (2031)	→
県の役所で使う電気自動車などの数	59台 (2021)	213台 (2025)	600台 (2030)	→

表から見えてくる、沖縄の現在地

災害に強い地域づくり

沖縄では、台風や地震などの災害が起きてもみんなの命と暮らしを守れるよう、避難所になる学校などの公共施設を丈夫にする工事など、地域づくりを進めています。これからは、地域での防災訓練や備えをさらに充実させ、どんな困難にも負けない「強くしなやかな地域」を、みんなで作っていきましょう。

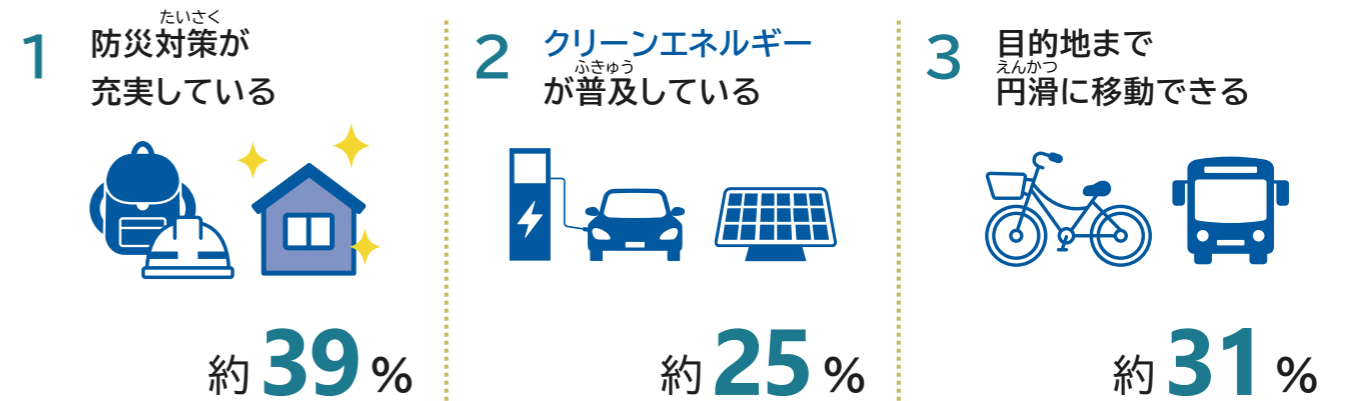
クリーンエネルギーでつくる、災害に強い沖縄

二酸化炭素をへらし、自然エネルギーを使う対策が進んでいます。沖縄では、2050年までに「エネルギーの脱炭素化」を実現することが目標です。自然を守り、災害にも強いエネルギー社会をみんなで作っていきましょう。

環境と人にやさしい、持続可能な地域へ

沖縄では、環境にやさしく便利な地域づくりを進めています。バスやモノレールの利用者がふえ、電気自動車(EV)などの導入も進んでいます。移動しやすく環境にもやさしい、「脱炭素社会」を目指しましょう。

県民アンケートから見る沖縄の現状



出典 第12回県民意識調査(暮らしについてのアンケート)結果 [くわしくはこちら](#)

よりよい沖縄の実現に向けてアクションを起こそう！

- 各家庭でローリングストックに取り組んでみよう
- 節電・節水・節ガスなど、「もったいない」をへらす暮らし方を意識しよう
- バスやモノレールなど、公共交通を積極的に使おう

あなたもいっしょに！沖縄をよくするみんなの取組

もしもの備えに。スマホに防災のお守りを

三井住友海上火災保険株式会社 [くわしくはこちら](#)

もしもの時に役立つ「スマ保災害ナビ」。カメラを向けるだけで避難所の場所が分かったり、安全な地図が見られます。7か国語に対応していて、みんなが使えます。お守りとしてダウンロードしませんか？

エコドライブが沖縄の未来を変える！

沖縄トヨタ自動車株式会社 [くわしくはこちら](#)

沖縄トヨタ自動車のエコドライブ活動は、CO₂をへらして自然を守り、やさしい運転で事故を無くすための取組です。みんなが安心して暮らせる未来を目指しています。

優先課題 7 豊かな自然や多様な生き物を守り、自然となかよく暮らす、環境にやさしい島づくり



くらべてみよう！沖縄の「これまで」と「これから」

チェックポイント	前の沖縄	今の沖縄	目指す沖縄	進み具合
沖縄の自然をこわす外来種がいなくなった地域の数	0地域 (2021)	2地域見込み (2025)	4地域 (2031)	↑
工事現場や畑から海に流れ出した赤土の量	14.1万トン (2021)	—	8.0万トン (2031)	— 数が少ないほど良いんだよ！
家庭などから出たゴミのリサイクル率	15.8% (2021)	14.9% (2023)	22.0% (2031)	↓
事業所などから出たゴミのリサイクル率	45.2% (2021)	47.5% (2023)	51.0% (2031)	↑
食品ロス量	61,450t (2021)	53,966t (2022)	51,004t (2031)	↑ 数が少ないほど良いんだよ！

表から見えてくる、沖縄の現在地

豊かな自然と生き物を守る

沖縄の自然は大切な財産です。サンゴや海の生き物に悪影響を与える赤土の流出を防ぐ対策や、もともと沖縄にいなかった外来種から生き物を守る調査が進んでいます。一人ひとりが自然を思いやり、外来種を持ちこまないなどの行動を続けましょう。

ムダをへらし、資源を大切に作る社会へ

食品ロスはへっています。一方で、家庭から出るごみのリサイクル率が低いという課題があります。ごみをへらすため、マイバッグの使用やごみの分別など、3R(リデュース・リユース・リサイクル)を意識した身近な行動を積み重ね、持続可能な社会をみんなでつくりましょう。

県民アンケートから見る沖縄の現状

- 赤土流出、騒音、環境汚染などが少なくなる **約29%**
- 廃棄物の適正処理、減量化・リサイクルが活発に行われている **約35%**
- 食品ロス問題を認知し削減に取り組む県民の割合 **約80%**

出典 第12回県民意識調査(暮らしについてのアンケート)結果 [くわしくはこちら](#)

第12回県民意識調査(暮らしについてのアンケート)結果 [くわしくはこちら](#)

沖縄県食品ロス削減推進計画(令和4年3月) [くわしくはこちら](#)

よりよい沖縄の実現に向けてアクションを起こそう！

- 地域の自然環境や生物多様性について学ぼう
- 白色トレイや牛乳パックなどの店頭回収の取組に参加しよう
- 食品ロスをへらす3つのコツ「買いすぎない」「使いきる」「食べきる」を始めてみよう

あなたもいっしょに！沖縄をよくするみんなの取組

あなたの一歩を、未来の資源に

株式会社セブン-イレブン・沖縄

[くわしくはこちら](#)



飲み終わったボトルを、セブン-イレブンの回収機へ！その行動が、ペットボトルを新しい資源に変え、沖縄の海や自然を守ります。何度も生まれ変わる「ボトルtoボトル」で、未来のためのリサイクルを始めよう！

おいしく食べて、社会貢献しよう

食品ロス削減ショップ ecoeat(エコイト)

[くわしくはこちら](#)



おいしく食べて、だれかの役に立とう！「エコイト」は、まだ食べられるのに捨てられそうな食品を救い、困っている人を助けるお店です。買い物をするのが、だれかのささえになります。みんなが笑顔の沖縄をつくろう！

優先課題 8 基地から起きる問題を解決し、沖縄から世界平和に貢献・発信する



くらべてみよう！沖縄の「これまで」と「これから」

チェックポイント	前の沖縄	今の沖縄	目指す沖縄	進み具合
アメリカ軍基地に関する事件・事故の数	148件 (2021)	149件 (2024)	可能な限り減少させる (2031)	→ 数が少ないほど良いんだよ！
飛行機の騒音から、人の生活や健康を守るための目標を達成している割合	65.0% (2021)	66.0% (2024)	82.0% (2031)	→
平和祈念資料館による平和講話(戦争体験などのお話)をした学校数	61校 (2021)	101校 (2024)	150校 (2031)	→
平和のためにボランティア活動などをする、人やグループの数	12団体 (2021)	24団体 (2025)	42団体 (2031)	→

表から見えてくる、沖縄の現在地

基地から起きる問題の解決

基地に関する事件や事故はふえており、不安を感じる県民も多くなります。この問題を解決するには、現状を正しく理解し、みんなで意見を出し合っ、国や行政に声を届けていくことが、未来をつくる大きな一歩になります。

平和の思いをつなぎ、世界へ広げる沖縄

沖縄は激しい地上戦で、多くの命や自然を失いました。この悲しみを繰り返さないよう、平和学習で学んだことを語り継ぎましょう。平和を願う「沖縄のこころ」を世界へ発信することが、地球の平和を築く大きな力になります。

県民アンケートから見る沖縄の現状



出典 第12回県民意識調査(暮らしについてのアンケート)結果 [くわしくはこちら](#)
 第12回県民意識調査(暮らしについてのアンケート)結果 [くわしくはこちら](#)
 令和6年度沖縄平和プロモーション事業「うむい つたえる・つなげる・のこす」報告書

よりよい沖縄の実現に向けてアクションを起こそう！

- 1 沖縄とアメリカ軍基地の歴史的背景を調べてみよう
- 2 県内の平和・人権に関する博物館や資料館に行ってみよう
- 3 学校や地域でできる「ピースアクション」を考えよう

あなたもいっしょに！沖縄をよくするみんなの取組

学び、感じる。

沖縄の自然と平和の尊さ

NPO法人自然体験学校

[くわしくはこちら](#)



沖縄の豊かな自然と、戦跡「ガマ」に残る歴史。その両方にふれて、命の尊さや平和の大切さを学びませんか？ガイドさんからお話を聞き、心で感じることで、未来を平和にするための大切な一歩になります。

命を見つめ、

平和を深く考える場所

沖縄県平和祈念資料館

[くわしくはこちら](#)



「平和を希求する沖縄のこころ」を伝える、沖縄県平和祈念資料館。沖縄戦の歴史的教訓を学び、戦後まで通じる沖縄県民の苦悩の歴史から、真の平和やわたしたちの未来について考えてみませんか？

優先課題

9

みんなで助け合ってつくる、安全・安心な社会



くらべてみよう！沖縄の「これまで」と「これから」

チェックポイント	前の沖縄	今の沖縄	目指す沖縄	進み具合
交通人身事故のうち、お酒を飲んで運転したことが原因の割合	1.8% (2021)	2.49% (2025年10月末)	0.9% (2030)	数が少ないほど良いんだよ！
夫や妻からのDV(暴力や暴言など)の相談件数	2,563件 (2021)	1,967件 (2024)	2,550件 (2031)	
親から子どもへの虐待(暴力や暴言など)の相談件数	2,509件 (2021)	3,100件 (2023)	減少へ (2031)	数が少ないほど良いんだよ！
NPOと県が協力した活動の数	473事業 (2021)	567事業 (2024)	820事業 (2031)	
「おきなわSDGsプラットフォーム」に登録しているグループの数	407団体 (2021)	1,748団体 (2024)	2,000団体 (2031)	

表から見えてくる、沖縄の現在地

安全・安心に暮らせる地域の表現

飲酒運転による事故がふえており、「絶対にさせない」というみんなの声かけが重要です。日ごろから地域の人とあいさつし、助け合える関係を作りましょう。見守りや訓練を通して、みんなが安心して暮らせる地域をみんなで育てていきましょう。

弱い立場の人を守り、ささえる社会へ

子どもやお年寄り、障がいのある方など、みんなを守る仕組みが大切です。なやみや暴力を相談できる場所がふえ、ささえ合う輪が広がっています。これからも地域や企業が協力し、みんなが安心して相談し、助け合える沖縄をつくりましょう。

パートナーシップを通じた、みんなで助け合ってつくる社会の実現

沖縄では、行政や会社が協力して課題を解決する「おきなわSDGsプラットフォーム」の仲間がふえています。一人ではむずかしいことも、みんなで知恵を出せば解決できます。世代をこえてつながり、より良い社会を共に作りましょう。

県民アンケートから見る沖縄の現状

1 犯罪におびやかされることなく安心くらしが確保されている

約 50%

2 配偶者からの暴力の防止と被害者の支援環境が充実している

約 28%

3 住んでいる地域や社会をよくする活動ができる機会が増えている

約 29%

出典 第12回県民意識調査(くらしについてのアンケート)結果 [くわしくはこちら](#) 第12回県民意識調査(くらしについてのアンケート)結果 [くわしくはこちら](#) 第12回県民意識調査(くらしについてのアンケート)結果 [くわしくはこちら](#)

よりよい沖縄の実現に向けてアクションを起こそう！

1 地域でのあいさつを大切に、「顔の見える関係」を作ろう

2 困ったときに相談できる窓口を調べてみよう

3 地域の企業や団体、NPOなどの取組を調べ、参加してみよう

あなたもいっしょに！沖縄をよくするみんなの取組

子ども地域安全マップコンテストにおうぼしてみよう

沖縄県 生活安全安心課 [くわしくはこちら](#)

自分たちの手で「あぶない場所」を見極める力をつけよう！地域を歩いて見つけた発見を地図にまとめ、コンテストに挑戦しませんか？みんなのアイデアが地域を救い、自分を守る力になります。

ひとりで抱えこまず、話してみませんか

公益財団法人おきなわ女性財団 [くわしくはこちら](#)

一人でなやまず、少しだけお話ししてみませんか。「ている相談室」は、だれでも無料で相談できます。あなたのいろいろなやみを、やさしく聞いてくれます。話すだけで、心は軽くなるはず。気軽に相談してね。

優先課題 10 「ユイマール(助け合い)」の心を受け継ぎ、人と地域の「和」を深める



くらべてみよう！沖縄の「これまで」と「これから」

チェックポイント	前の沖縄	今の沖縄	目指す沖縄	進み具合
県内市町村社協へ登録しているボランティアグループの数	709団体 (2021)	803団体 (2024)	830団体 (2027)	➔
災害が起きたとき、自分たちの地域を守るグループがある割合	37.2% (2021)	42.4% (2024)	85.0% (2031)	➔
沖縄の伝統芸能(組踊・エイサーなど)のイベントの参加者数	4,750人 (2021)	308,940人 (2024)	408,000人 (2031)	➔

表から見えてくる、沖縄の現在地

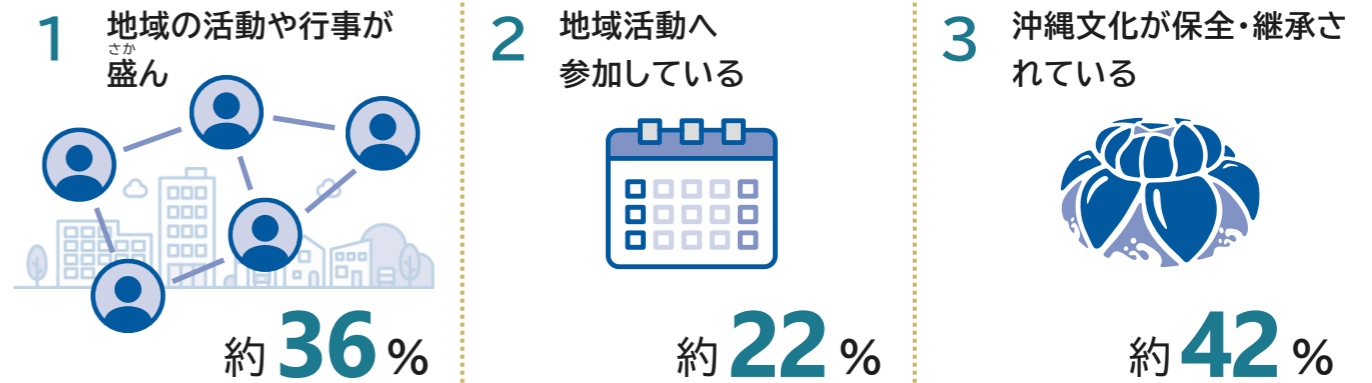
みんなで地域をささえ合う社会づくり

地域のボランティアや、自主防災組織(地域の人たちが「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識によって自主的に結成するグループ)の活動が広がっています。より良い町にするために、まずは近所で行われている活動を調べてみましょう。自分にできることから参加することが、未来の地域づくりにつながります。

伝統行事や文化の次世代への継承

沖縄にはエイサーやハーリーなど、地域で大切に守られてきた伝統文化がたくさんあります。イベントへの参加者もふえており、注目が集まっています。地域の宝である伝統を学び、わたしたちも次の世代へ引き継いでいきたいと思います。

県民アンケートから見る沖縄の現状



出典 第12回県民意識調査(暮らしについてのアンケート)結果 [くわしくはこちら](#)

よりよい沖縄の実現に向けてアクションを起こそう！



あなたもいっしょに！沖縄をよくするみんなの取組

あなたの手で、漫湖の魅力を広めよう

漫湖水鳥湿地センター [くわしくはこちら](#)

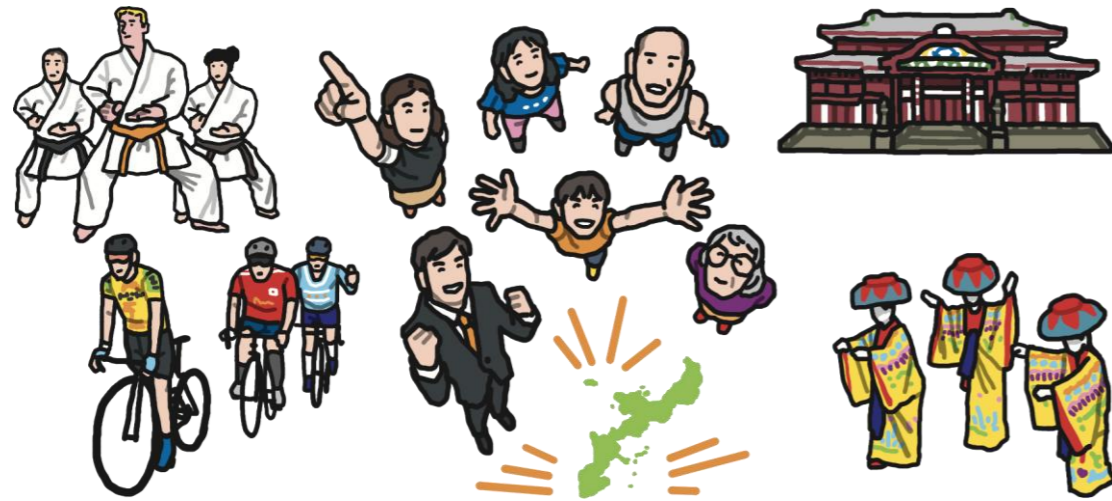
豊かな自然を、未来へ！生き物の調査やイベントなど、自分のペースで参加できる活動を募集中。こどもから大人まで、漫湖の魅力を広める仲間になりませんか？まずは「漫湖水鳥・湿地センター」へ行ってみよう！

沖縄の伝統文化を未来へ、世界へつなぐ

国立劇場おきなわ [くわしくはこちら](#)

世界に認められた「組踊」と、沖縄が誇る「琉球舞踊」を体験しませんか？国立劇場おきなわでは、伝統芸能の公演や体験イベントを行っています。見て学んで、伝統芸能を未来へ、世界へつなぐ仲間になろう！

優先課題 11 地域・年れい・文化などをこえて、広くつながり協力し合う仲間の輪



くらべてみよう！沖縄の「これまで」と「これから」

チェックポイント	前の沖縄	今の沖縄	目指す沖縄	進み具合
離島へ引っ越してきてふえた人の数	-70人 (2021)	786人 (2023)	増加(2021年10月~2031年9月の累計) (2031)	➔
人口がへっている地域へ引っ越してきてふえた人の数	7人 (2021)	342人 (2023)	増加(2021年10月~2031年9月の累計) (2031)	➔
「空手は沖縄で生まれた」と知っている沖縄県外の人の割合	36.8% (2021)	29.2% (2024)	76.0% (2031)	➡
スポーツの大会や合宿で使われたお金(消費額)	45億円 (2021)	135億円 (2024)	200億円 (2031)	➔

表から見えてくる、沖縄の現在地

離島などの魅力を活かした地域間の交流

沖縄の離島には、地域ごとに魅力があります。その魅力を伝えて、島に移り住む人や、交流人口(旅行などでその地域を訪れる人)・関係人口(その地域に住んでいないが応援してくれる人)をふやすことが大切です。情報発信を続け、世界中に島のファンを増やしていきましょう。

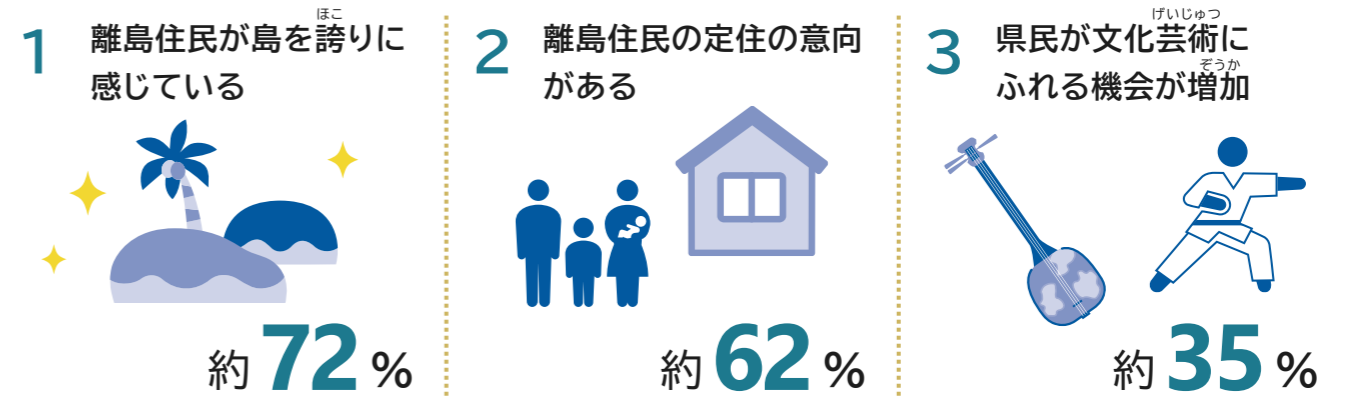
伝統文化・歴史・行事の世代をこえた発信

沖縄生まれの空手は、今では世界中で愛されています。空手の指導者たちが海外へ教えに行くなど、世界との交流も盛んです。わたしたちの大切な歴史や伝統文化を学び、次の世代や世界へ自信を持って伝えていきましょう。

スポーツ・文化活動による地域活性化

沖縄ではプロチームの応援やキャンプ誘致など、スポーツで地域を盛り上げています。イベントで沖縄を訪れる人もふえています。みんながスポーツや文化活動に挑戦できるよう、地域全体でささえ、夢を育む環境をつくりましょう。

県民アンケートから見る沖縄の現状



出典 第12回県民意識調査(暮らしについてのアンケート)結果 [くわしくはこちら](#)

よりよい沖縄の実現に向けてアクションを起こそう！

- 1 離島の歴史を学んだり、料理や音楽を楽しもう
- 2 住んでいる地域の魅力や課題を調べて、発信してみよう
- 3 沖縄空手の歴史を学び、体験してみよう



あなたもいっしょに！沖縄をよくするみんなの取組

「島まーる」で離島の魅力を体感し、困りごとをいっしょに解決しよう

沖縄県地域・離島課

[くわしくはこちら](#)



特別な体験で、島の「仲間」になりませんか？島の困りごとを地元の人といっしょに解決するボランティアです。協力し、交流することで、観光よりも深い「つながり」が生まれます。あなたの力で、島の未来をささえよう！

世界中に広がる空手のふるさと

沖縄空手会館

[くわしくはこちら](#)



沖縄は「空手の生まれた場所」！世界中があこがれる強さのひみつは、平和を大切にしている心にあります。展示や体験を通して、沖縄の宝・空手を見て、学び、感じてみよう！

優先課題 12 沖縄の知恵を生かし、世界の島々と協力し合うパートナーシップ



くらべてみよう！沖縄の「これまで」と「これから」

チェックポイント	前の沖縄	今の沖縄	目指す沖縄	進み具合
国際協力で、海外の研修生を受け入れたグループの数	18団体 (2021)	26団体 (2024)	28団体 (2031)	➔
世界中に住んでいるウチナーンチュとのつながりを強くする活動の数	22件 (2021)	27件 (2024)	56件 (2031)	➔

表から見えてくる、沖縄の現在地

沖縄の技術・経験の共有による国際貢献

沖縄には農業や環境を守るための優れた技術があります。これらを海外の人に伝える活動が進み、沖縄へ学びに来る人もふえています。平和を希求する「沖縄のこころ」を大切に、世界の人と協力して共通の課題を解決していきましょう。

世界とつながり協力し合う社会づくり

かつて多くの人々が海外へ渡り、今では約42万人の県系人が世界中で活躍しています。10月30日は「世界のウチナーンチュの日」です。世界中のウチナーンチュ(沖縄出身者やその子孫)とのつながりを大切に、友好の輪を未来へつなげていきましょう。

県民アンケートから見る沖縄の現状

- 1 沖縄の特性や技術を生かした国際協力・貢献が盛ん **約22%**
- 2 多くの外国人が訪れ、県民との交流が活発 **約26%**
- 3 世界のウチナーネットワークなどを生かした国際交流が盛ん **約26%**

出典 第12回県民意識調査(暮らしについてのアンケート)結果 [くわしくはこちら](#)

第12回県民意識調査(暮らしについてのアンケート)結果 [くわしくはこちら](#)

第12回県民意識調査(暮らしについてのアンケート)結果 [くわしくはこちら](#)

よりよい沖縄の実現に向けてアクションを起こそう！

- 1 沖縄ならではの国際交流・協力について調べてみよう
- 2 沖縄に住んでいる外国人と交流してみよう
- 3 沖縄移民・世界のウチナーンチュとのつながりについて調べてみよう



あなたもいっしょに！沖縄をよくするみんなの取組

JICA沖縄、世界と出会う場所

JICA沖縄

[くわしくはこちら](#)



ここは沖縄と世界の助け合いを学べる場所。世界の料理が食べられる食堂やSDGs展示、いろんな地域の民族衣装も着られます。海外の人とふれあえるイベントもいっぱい。新しい発見がきっとみつかる！

絆を次世代へ。

ウチナーネットワークへの招待

ウチナーネットワークコンシェルジュ

[くわしくはこちら](#)



沖縄出身の人や、海外で暮らす沖縄にゆかりのある仲間たちがつながる大きな輪！それが「ウチナーネットワーク」です。この大切な絆を守り、沖縄の文化を未来へ伝える活動をしています！

04 いっしょに取り組む仲間の取組事例

沖縄でSDGsを進めるために ~みんなの役割~

沖縄でSDGsの取組を進めるには、様々な立場の人たちが力を合わせる必要があります。企業・団体や自治体、そして県民一人ひとりが「自分にできること」を意識して行動することが大事です。みんなにどんな役割が期待されているのか、そしてどのような取組が行われているのかを、「沖縄県SDGs実施指針」をもとに紹介します。

1 | ビジネス・民間組織

- 企業は、経営の考え方や仕事の進め方に、SDGsを取り入れることが大切です。
- 仕事の中でSDGsにつながる工夫をしたり、社会の問題を解決する新たなビジネスを考えたりします。

2 | 金融・ファイナンス

- 中小企業を助けるための融資を充実させたり、社会のために活動する団体にお金を届ける仕組みが求められます。
- また、ESG金融にも力を入れていきます。

3 | 県民一人ひとりや県民のグループ

- 声を上げられない、上げにくい人たちの声を聞き取り、みんなの活動に反映させるよう橋渡しすることが大切です。
- 海のごみをへらしたり、食べ物をむだにしないよう工夫するなど、県民一人ひとりが、身近な行動を続けていきましょう。

「ユネスコSDGsパスポート」は、ボランティア活動や平和学習、SDGsに関する取組を記録する冊子。小中高生から社会人まで利用でき、ポイントをためて認定証を取得することができます（沖縄県ユネスコ協会）



4 | 女性

- 女性が教育や仕事などに公平に参加できることが大切です。
- 女性が話し合いの場に参加すると、女性はもちろん、お年寄りや子ども、障がいのある人、LGBTQなど、色んな人たちの意見を取り入れやすくなります。
- ジェンダーを問わず、みんなが平等に活躍できる社会を目指しましょう。

5 | こども・若者

- SDGsの達成期限の2030年以降の社会をささえる若者が、SDGsについて考え、意見を言うことが大切です。
- 若者が意見を言える場をつくり、企業や団体といっしょにSDGsを進めていきましょう。

「SDGs全国フォーラム2024沖縄」で、県内高校生・大学生が2030年に向けた力強いメッセージを発信（沖縄県）



6 | 教育機関

- SDGsを学ぶ授業に、力を入れていきます。子どもたちに分かりやすい教材や、先生向けの研修を充実させます。
- 地域や企業と協力しながら、子どもたちにSDGsを教えます。



県内SDGs指定校の学生と、長野県の学生とのオンライン交流会（沖縄県）

7 | 研究機関

- SDGsを知るのに役立つデータを集めて分析したり、科学の力で課題を解決する方法を探します。

8 | 文化・芸術やスポーツを広める人

- 沖縄ならではの言葉や伝統芸能、スポーツなどを活かして、沖縄の心を未来に伝えることが大切です。



2025大阪・関西万博での、沖縄の伝統文化のステージ

9 | マスメディア

- 社会の問題を分かりやすく伝え、声を上げられない、上げにくい人たちの思いもすくい上げます。
- 色んな団体と協力して情報を発信します。

10 | 市町村

- それぞれの地域に合ったやり方で、SDGsの取組を進めます。沖縄県と市町村で情報を共有して協力します。
- 地域団体や企業、住民と協力しながら、SDGsの取組を広げていきます。



「世界一サンゴと人にやさしい村」を目指し、サンゴ礁を守る活動・赤土流出対策などを進める（恩納村）

11 | 議会

- 住民の声をよく聞き、課題を解決するための政策を話し合う、大切な場です。SDGsの考え方を取り入れることが求められます。

12 | 観光客

- 観光で沖縄に来る人たちへ、沖縄でSDGsの取組を進めることの大切さを知ってもらったり、SDGsの取組をいっしょに進めたいと思ってもらうことが大切です。

沖縄県が目指すサステナブルツーリズムのあり方（概念図）



沖縄でSDGsの取組を進めるために、県民・企業・観光客が何をしていくかを定めた「沖縄サステナブルツーリズム宣言」（沖縄県）

三方良しを目指す「世界から選ばれる持続可能な観光地」

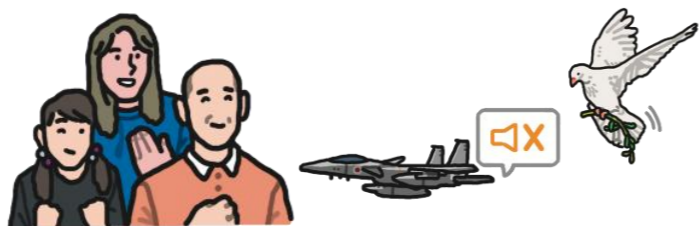
13 | 世界のウチナーンチュ（ウチナーネットワーク）

- 沖縄出身の人やその子孫を「ウチナーンチュ」と言います。海外に住むウチナーンチュも多く、世界に約42万人いると言われています。
- このつながり（ウチナーネットワーク）を大切に、交流を深めながら、いっしょに沖縄の発展を目指しましょう。



世界各国のウチナーンチュが沖縄に集まり、県民との交流を深めるイベント「世界のウチナーンチュ大会」

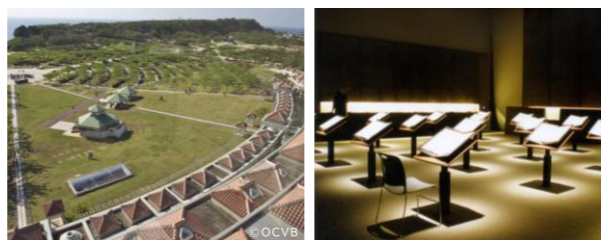
平和に関する取組



1 平和を学ぶ

■ 沖縄県平和祈念資料館

住民が体験した沖縄戦の様子や、戦争が終わって平和を目指す沖縄の人たちの姿を映像や模型を使い描くことで、戦争の恐ろしさや平和の尊さを訴えています。また、戦後80年がたち、戦争体験者がへっている中、沖縄戦の実相と教訓を次世代へつなぐため、沖縄戦の語り継ぎ手の養成に取り組んでいます。



左:平和祈念公園 右:常設展示室 沖縄戦の証言

参加者の声

沖縄戦を多様な視点で学ぶことができました。歴史的な背景・平和資料館の活用、ワークショップなど多様な学びを通して沖縄戦を伝えられる語り手としてがんばりたいです。

くわしくは
こちら



■ 平和の礎

沖縄戦が終わって50年目の1995(平成7)年、沖縄県民の平和を求める心を広くアピールし、世界平和に役立つことを願ってつくられました。

波のように連なる刻銘版には、世界の平和を願い、沖縄戦などで亡くなった約24万人の氏名が刻まれています。

くわしくは
こちら



刻銘版

2 沖縄の歴史を次世代へつなぐ

■ 担い手の育成

国際協力や平和発信に関わる人材を育成するために、県内の大学生を国際協力NGOの活動現場へ派遣する機会をあたえています。

研修先で幼児健診を行う様子



■ 「平和への思い」発信・交流・継承

平和構築のためのネットワークづくりと人材育成を目的に、相互理解を深めるための共同学習に取り組んでいます。

くわしくは
こちら



シンポジウム「あしたのアジア」



文化に関する取組



1 琉球歴史文化の日

沖縄県では、先人たちが作りあげてきた沖縄の歴史と文化への理解を深め、故郷への誇りや愛着を感じられる地域社会を形作るとともに、新たな歴史と文化を自らの手で作りだすことを目指すため、2021年から11月1日を「琉球歴史文化の日」と決めました。琉球歴史文化の日が、祖先(ウヤファーフジ)への敬意、自然への畏敬の念、他者の痛みによりそうチムグクルを育む日として広く知ってもらえるよう取り組みます。



琉球歴史文化の日
シンボルマーク

具体的な取組

- 琉球歴史文化の日の記念イベント
毎年11月1日に県内劇場で学生無料の伝統芸能の公演を行う
- 琉球歴史文化の日関連ワークショップ
児童生徒を対象に、伝統芸能の鑑賞教室を学校で行う



琉球歴史文化の日記念イベントで披露された伝統芸能の様子

参加者の声

組踊はテレビで少し見たことがある程度だったので、やっぱり自分の目で直接見るのは迫力がちがうし、物語の世界に入りこめるので良いなと思いました。

くわしくは
こちら



2 しまくとぅば学童学習の取組

沖縄文化の土台である「しまくとぅば」が失われると、沖縄の組踊や琉球舞踊なども衰退するとともに、県民の郷土愛も失われ、結果的に沖縄文化の衰退へとつながることが心配されます。この取組では、学童保育に通う小学生とその家族、そして地域コミュニティのしまくとぅばに対する関心を高めることを目的に、しまくとぅばの学習やワークショップイベントを行います。

具体的な取組

- しまくとぅば講座
- しまくとぅばワークショップ
- しまくとぅば絵本の読み聞かせ
- しまくとぅば発表会

しまくとぅば講座の様子



くわしくは
こちら



あなたが考える理想の沖縄は どんなまちですか？

「理想の沖縄」「理想の自分」を想像し、
思いついたアイデア・イラストを空いているスペースに
描いてみましょう！

理想の沖縄を考えるヒント

- 自然を守る沖縄ってどんな姿だろう？
- 文化を大切にすまちってどんなまち？
- 観光と環境は両立できるのかな？

です



【03 優先課題で見る沖縄】で気になった優先課題について、「現状の課題」と「課題を解決するためのアクション」を考えてみよう！

優先課題	どんな課題があるだろう？	課題を解決するためのアクションを考えてみよう！
<input type="text"/>		

優先課題	どんな課題があるだろう？	課題を解決するためのアクションを考えてみよう！
<input type="text"/>		

もっと沖縄県のSDGsを知りたい人へ

おきなわSDGsプラットフォーム

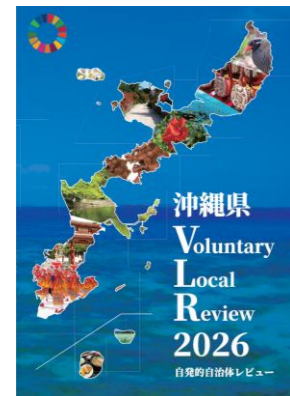
おきなわSDGsプラットフォーム

「おきなわSDGsプラットフォーム」は、沖縄県内においてSDGsに関連する活動に取り組んでいる、または関心を持っている人たちが「情報共有」や「交流・協力」を行う場です。



沖縄県SDGsモニタリング報告書 ほうこくしょ

沖縄県では、県内のSDGsに関する取組の進み具合を定期的にチェックすることを目的に「沖縄県SDGsモニタリング報告書」を作成しています。



沖縄県VLR (自発的自治体レビュー)

沖縄県では、県内のSDGsに関する取組の進み具合を評価し、その結果をまとめたレポート「VLR(Voluntary Local Review, 自発的自治体レビュー)」を国際連合へ提出・公開しています。



おきなわSDGsのとびら

沖縄県教育委員会では、持続可能な社会の実現を目指してSDGsやESDなどの理解を深めていくために、各学校や関係機関において活用いただける資料を作成しています。



SDGs用語集

ESG金融 <small>きんゆう</small>	環境や社会に良いことをする会社を応援するために、お金を出す仕組み。	国際物流特区	外国とのやりとりをしやすくするため、特別なルールで物を運べる地域。
ICT (デジタル)	コンピューターやインターネットを使って、生活や仕事を便利にする技術。	国際連合/国連	世界の国が集まり、世界の平和のために活動する団体。
JICA (独立行政法人国際協力機構) <small>どくりつぎょうせいじんこくきょうりきこう</small>	日本が、世界の困っている国を助けたり、生活を良くする手伝いをする団体。	生涯学習 <small>しょうがい</small>	大人になっても、ずっと学び続けること。
LGBTQ	いろいろな性や性別の考え方があることを表す言葉。	持続可能な開発目標	地球や人がずっと安心してくらすために、世界で決めた17の目標。
NGO	お金をもうけるためではなく、困っている人のために海外で活動している団体。	相互理解 <small>そうごりかい</small>	おたがいの考えや立場のちがいを知り、分かろうとすること。
NPO法人/NPO	お金をもうけるためではなく、困っている人のために国内で活動している団体。	ダイバーシティ	年れい・性別・文化などのちがいを大切にし、力を合わせること。
一般社団法人 <small>いっばん</small>	社会のための活動をする団体。	脱炭素 <small>だつたんそ</small>	二酸化炭素などをふやさないように、出す量をへらすこと。
インターン	学生などが、会社で短い期間働いて、仕事を体験すること。	地産地消	地元で生産された食材を、地元で買ったり食べたりすること。
外来種	もともといなかった地域に、つれてこられたり、やってきた生き物。	融資 <small>ゆうし</small>	銀行などが、お金を必要な人や会社に貸すこと。
行政 <small>ぎょうせい</small>	国や都道府県・市区町村が、みんなの生活を良くするために行う仕事やサービス。	ユネスコ(国連教育科学文化機関)	世界の国が集まり、教育・科学・文化などを守り広げるために活動する団体。
クリーンエネルギー	太陽光・風・水などの自然の力を使って、地球をよごしにくい方法でつくる電気や熱。	ローリングストック	ふだんから食べ物を多めに買って置き、食べた分だけ買い足して、災害に備える方法。
公益財団法人 <small>こうえきざいだん</small>	集めたお金を使って、みんなの役に立つ活動をささえる団体。		